

天神川大規模氾濫時の減災対策協議会（第8回）

議事概要

（日 時） 令和2年6月3日（水）9時30分～10時35分

（会 場） 鳥取県中部総合事務所 講堂

（議事内容）

- ① 天神川水系大規模氾濫時の減災対策協議会規約の改正について
- ② 令和元年度の取組報告
- ③ 令和2年度の取組内容の確認
- ④ その他
 - ・減災対策協議会に関わる事例等の情報提供
 - ・緊急治水対策プロジェクト・流域治水プロジェクト

1. 議事

（1）天神川水系大規模氾濫時の減災対策協議会規約の改正について
幹事会の役職名の変更について了承された。

（2）令和元年度の取組報告

◎事務局より令和元年度の主な取組内容について報告した。

- ・水害から高齢者の避難行動の理解促進に向けた取組について
- ・簡易型河川監視カメラの整備
- ・ハザードマップの作成、周知
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成・訓練実施の促進
- ・防災教育(学習)の実施
- ・河道掘削、樹木伐採による河川断面確保対策
- ・「あれから60年 天神川流域 伊勢湾台風の爪痕」パネル展の開催

（3）令和2年度の取組内容の確認

◎事務局より令和2年度に取組む主な事例の説明をした。

- ・簡易型河川監視カメラの追加設置
- ・多機関連携型タイムラインの運用、検証及び見直し
- ・まるごとまちごとハザードマップの作成支援の検討
- ・広域的な避難の必要性の検討
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成の促進・避難訓練の実施
- ・既存ダムの洪水調節機能強化に向けた基本方針
- ・浸透対策、パイピング対策、流下能力対策の実施
- ・フラップ化等の無動力化の実施

【委員からの意見】

- 北栄町長：①簡易型河川監視カメラが14基設置され、今年度もう1基設置される。
雨天の時や夜間の時にもきちんと見られるものか教えてほしい。
②まるごとまちごとハザードマップの標識について、海拔を表示している津波のものと紹介された浸水深は同じ場所に設置するのか。棲み分けがあるなら教えてほしい。
③今般のコロナウイルスについては、3密を控えるようにいわれているが、出水時等には避難所を開設する必要がある、対応に苦慮する。国として考えや参考の資料があれば教えてほしい
 - ◎事務局：①カメラにはバッテリーも搭載されているので3日程度は持つ見込み。
夜間の監視については、機能を落とした簡易型であるので、視認性はCCTVカメラに劣る。
②両方とも一体として使うことになる。
③資料5の情報提供の中に該当する資料を掲載しているので参考としてほしい。
 - 倉吉河川国道事務所長：まるごとまちごとハザードマップについては現地の状況に応じて、住民に混乱を与えないようにしたい。具体的な事については相談させて欲しい。

 - 湯梨浜町長：タイムラインは横の機関の動きも分かるため上手に活用したい。どういう時にどう動くか研修会を開催して欲しい。
広域避難については、湯梨浜町の場合ほとんどの地区が浸水することになるので要配慮者利用施設の避難計画と合わせて移動手段等の様々な視点から前へ進めていきたい。
 - ◎事務局：タイムラインの研修会については、今後検討させて欲しい。

 - 三朝町長：資料中にあったパイピング対策について教えてほしい。
タイムラインの作成ありがとう。1枚でタイムラインの確認をしたいが資料は概要版で良いか。
 - ◎事務局：川の水位が上昇していくと、水位差により堤防中を水が浸透し水道という通り道ができる。そこが弱部となり堤防の破堤に繋がる。
タイムラインの資料については、1枚で確認できるものとしては概要版でよい。総括版や詳細版も作成しているが、これらは実務担当者の利用をイメージしている。
- (4) その他
- ◎事務局より取組に関わる事例等の参考資料の説明及び今年度より取り組む流域治水プロジェクトについて説明をした。

【委員からの意見】

- 倉吉市長：倉吉市では全戸配布を行った。1000年確率雨量を元に作成した。

昨今のコロナウイルスの事もあるが、避難場所の候補がない。住民には自分の家が逃げる必要がある場所なのか認識を持ってもらう必要がある。

行政としては、避難場所の整理が必要だが、地理的に市街地は浸水区域、山地は土砂災害警戒区域に指定されている。垂直避難も合わせて検討を進めたい。

今、降っている雨が何年規模の確率の雨となるのか予想は立てられないか。

- 気象台：難しい問題である。千年規模の降雨を一度に予想することは難しい。